

東北の林木育種

臨時号 2021.1

つぎ木によるクローン増殖や採種穂園の管理等について、講習・指導を実施

林木育種センター東北育種場 竹田 宣明

東北育種場では、東北各県からの要望に応じて、クローン増殖の方法や採種穂園の管理等についての講習・指導を実施しています。

令和2年度は、これまで青森県、岩手県、新潟県からの要望を受けて、マツやカラマツのつぎ木によるクローン増殖や、クロマツやスギ採種穂園の樹形誘導・施肥等についての講習・指導を実施しましたので概要を紹介します。

1 マツやカラマツのつぎ木によるクローン増殖講習

アカマツは名古屋城等の文化財の補修用としても使用されており重要な樹種です。県木が南部アカマツである岩手県では今後、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ採種園の造成を計画しています。この採種園に導入予定のアカマツについて講習指導の要望を受け、採種木のつぎ木によるクローン増殖を支援するため、岩手県の職員等を対象につぎ木増殖の手法について、実技を交えた指導と意見交換を行いました。



写真 マツつぎ木手法の実技指導

カラマツは近年、合板や集成材の原料、比較的早い成長性等から造林用樹種として需要が増しています。東北各県でもカラマツ苗木の安定的な供給を目指し採種園の造成を計画しています。これらの採種園に導入予定のカラマツについて、講習指導の要望を受け採種木のつぎ木によるクローン増殖を支援するため、青森県、岩手県の職員等を対象にカラマツのつぎ木増殖の手法について、実技を交えた指導と意見交換を行いました。



写真 カラマツつぎ木手法の実技指導

2 マツ採種園及びスギ採種園の管理に関する講習

新潟県では、クロマツによる海岸林造成のための種子採取を目的に、平成27年度から抵抗性クロマツ採種園の造成に取り組んでいます。また、花粉症対策に資するため、平成22年度から無花粉スギの採種園を造成し、穂木の売払いを実施しています。これらの採種園について講習指導の要望を受け新潟県の職員等を対象に、採種木の樹形誘導や施肥及び採種木からの穂木の選別や採種木の維持管理等について、実技を交えた指導と意見交換を行いました。



写真 クロマツ採種木の樹形誘導手法の実技指導

今後も引き続き、育種事業に携わる皆様の要望に適切に対応出来るよう各種の講習・指導に取り組んでまいりますので、是非ご活用下さい。

2021年1月臨時号の紙面

【報告】

つぎ木によるクローン増殖や採種穂園の管理等について、講習・指導を実施1

【付属資料】

令和元年度東北育種基本区（福島県を含む）採種園種子調査集計表2

林業研究・技術開発推進東北ブロック会議育種分科会



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場
Tohoku Regional Breeding Office, Forest Tree Breeding Center Forestry and Forest
Products Research Institute